

令和7年8月熊野市教育委員会会議録

1. 日 時 令和7年8月28日（木） 午後4時00分から
2. 場 所 文化交流センター 多目的ルーム
3. 出席者 倉本教育長、根引委員、糸川委員、北野委員、澤田委員
4. 事務局説明員
雑賀総務課長、西村学校教育課長、水口社会教育課長、
中田総務課庶務係長
5. 教育長報告
6. 議 事
議案第1号 令和7年度熊野市教育費補正予算案について
7. 報 告
・クマの出没状況と対応について
8. その他
・教育委員研修について（総務課）
・学力学習状況調査の公表等について（学校教育課）
・総合教育会議について

□開会（開会の宣言）

（教育長）それではただいまから、令和7年8月熊野市教育委員会議を開催いたします。事項書に沿って進めてまいります。

□教育長報告

（教育長）事項2 報告、別紙をご覧ください。

（経過報告、事件・事故等、今後の予定・その他について報告）

（教育長）2の報告教育長報告で何か質問ございませんでしょうか。

（委 員）子ども水泳教室ですが、毎回相当な人数が来ているのでしょうか。。

（事務局）今回募集させていただいたのは7名です。インストラクターが安全面も含めて指導することができる人数ということで、7名の方に来ていただいております、1回目から皆さん楽しく参加していただいております。

（委 員）7名の募集は少ないような気がするのですが、参加できなかった子はいないのでしょうか。

（事務局）参加できなかったという話は聞いておりません。

（教育長）よろしいでしょうか。

- (委 員) はい。
- (教育長) それでは、事項3議事に移ります。議案第1号 令和7年度熊野市教育費補正予算案についてお願いします。
- (事務局) (議案第1号 令和7年度熊野市教育費補正予算案について提案)
- (教育長) 議案第1号につきまして、質問等はありませんでしょうか。
- (委 員) はい。
- (教育長) それでは、議案第1号 令和7年度熊野市教育費補正予算案につきまして承認いただけますでしょうか。
- (委 員) はい。
- (教育長) 承認いただきました。ありがとうございます。
- (教育長) 続いて事項4 報告 クマの出没状況と対応についてお願いします。
- (事務局) (クマの出没状況と対応について説明)
- (教育長) このことにつきまして質問等ありませんでしょうか。
一点補足させていただきます。当初、通学路の近くにおいて出没した場合はスクールバスを運行する、としていたのですが、クマが広い距離を移動するということや、保護者や学校の要望を踏まえて、現在判断しております。
- (委 員) これは9月1日から30日までの間ということは、臨時のスクールバスですね。バスの運転手さんの手配などは問題ないのでしょうか。
- (事務局) 年度当初より、昨年度もクマ対応でスクールバスを緊急で運行する計画を立てておりました。そのため、バスの運転手については問題なく手配しております。
- (委 員) わかりました。
- (委 員) 関連してですが、バスは1台ですか。
- (事務局) 飛鳥小学校の普段の日のスクールバスは、乗車する児童・生徒が限られているため小さく、今回全員を乗せるとなるとそれでは対応できません。新鹿小・中学校のスクールバスについては乗車できるため、バスを入れ替えて対応しています。飛鳥中学校についてはそのまま対応できますが、五郷小学校の方は今回運行はしておりません。もし五郷小学校が対象となった場合は、運行回数を増やす形で対応させていただくことになります。
- (教育長) その他ありませんでしょうか。
- (委 員) 特にないです。
- (教育長) こちらは報告ですので、これで終わらせていただきます。
事項5 その他 教育委員研修についてお願いいたします。
- (事務局) (教育委員研修について説明)

- (教育長) 何か質問や要望、提言はございませんでしょうか。
- (事務局) 例えば、特色ある学校や地域を視察するというようなことでもよいと思います。
- (委員) よその市町の文化財なども挙げられていましたが、そういうのも見てみたい気がします。ですが、やはり学校現場、私はそちらの方に興味があります。
- (教育長) 学校現場で授業を見たり、学校経営の進め方について学びたいということであれば、他市町の教育委員会にお願いすることはできます。
- (委員) あまり大規模な学校を見ても、この地域ではあまり参考にならないとか。できれば、この地域ぐらいの規模、または反対に、もう少し小さい学校にも興味があります。
- (教育長) 他に何かありませんか。
- (委員) 学力が非常に進んでいる学校ももちろん見てみたい気持ちはありますが、この熊野市のように文化財が多く、地域に特色があるような場所で、それらを生かして学校が地域と密接に取り組んでいるような、見本となる事例が見られたら良いなと思います。
- (教育長) 他にありませんか。
- (委員) 例えば、チャット GPT などの AI は、最先端ですね。実際に取り入れるかどうかは別として、何か最先端の取り組みをしている場所があれば、将来的に参考になるような気がします。
- (教育長) その他ありませんでしょうか。
- そうしましたら、いくつかのご意見を頂戴いたしました。それを基に、原則日帰りとし、あまり負荷のかからないということを考慮して、熊野市と似た規模であるが、違う取り組みをしているようなところも含めて、いくつか案を提示させていただくということによろしいでしょうか。
- (委員) はい。
- (教育長) 続いて、学力学習状況調査の公表等についてお願いします。
- (事務局) (学力学習状況調査の公表等について説明)
- (教育長) このことにつきまして質問等ございませんでしょうか。
- (委員) 家庭学習についてなのですが、学校での宿題などはどの程度の量なのでしょう。
- (事務局) 各学校では、教師から与える漢字練習や算数の計算問題のような家庭学習もあります。また、学校によっては、子どもたちが自分で課題を見つけ、自主学習として家庭で取り組むような学習を与えているところもございます。

(委員) 孫を見ていると、先生によって違うことがあるようですが、学校全体で平均してこれぐらい出す、というのはあるのでしょうか。

(事務局) 学校全体で統一した形式で実施することについては、学校で協議を行い量を揃えているところもありますが、正直なところ、なかなか決定できていないのが現状です。先生方の考えはもちろんのこと、保護者の方々の考えもございます。多く出すことで「減らしてほしい」という要望もあれば、逆に少ないので「もう少し出してほしい」という要望もあるため、多くのご意見を聞きながら、またクラスの状況に応じて、量や質を検討する必要があると考えております。

(委員) ありがとうございました。

(教育長) その他ありませんでしょうか。

(委員) 中学校生徒質問調査では、「数学の授業の内容はよくわかりますか」という項目が、全国に比べて熊野市はかなり高いですね。ですがその割には平均より下になっていて、学力の高い子を伸ばすようなやり方ではなく、全体的に底上げするような授業の取り組みをされているから、わかるという子の人数は多いけれども、点数的には上が伸びない分、平均が下がっているということなののでしょうか。

(事務局) その点については、講師の先生からも同様にご指摘を受けております。

(委員) アンケートでは「わかりますか」という問いに対し、87%の生徒が「わかる」と回答しているのは素晴らしいことですが、それが実際の成績に反映されていないのは不思議に感じます。

(事務局) 昨日の研修会では、先生方それぞれにグループ討議を行っていただきました。その中で、学力向上に向けた方策について議論したところ、既に具体的に実践されている先生方もいらっしゃいます。例えば、最初の基本的な部分をしっかり押さえた上で、授業の後半では発展的な問題を与え、皆で少し難しい問題を考えるといった取り組みです。一方で、講師の先生からのご指摘を受け、「もしかしたら、わからない児童・生徒にばかり目が行き過ぎてしまっていたかもしれない」と反省を述べる先生もいました。講師の先生のお話にあったように、基礎をしっかりと学び、それが基本に繋がり、さらに活用して発展していくことが重要です。基礎を確実に押さえた上で、それをどのように活用していくかという点を重視した授業を、今後も継続していく必要があると考えます。

(委員) そうですね。数学とはいえ、問題の内容を理解し、出題に対して答えを導き出すには、やはり国語力が重要だと感じます。「国語の勉強は得意ですか」という項目がかなり低いことから、数学の授業は理解で

きても、テストの解答方法や問題内容がわかりにくく伝わっている、ということも考えられますね。

(教育長) その他ありませんでしょうか。

(委員) 講師の先生が言っておられたように、学力の高い子を伸ばすような方策も必要ということですが、1つの教室に対して先生は1人なのでしょうか。副担任の方がついて授業を行っているのでしょうか。

(事務局) 基本的には1人体制です。ただし、加配教員がつく場合や、チーム・ティーチングの形で授業を行う場合もございます。また、習熟度別にクラスを分け、子どもたちが基礎を学びたいか、あるいは発展的な内容を学びたいかを選択できるような取り組みをしている学校もあります。しかし、ある程度の規模の学校であれば可能ですが、小規模校では教員数が限られるため、どうしても1人での対応となることが多いのが現状です。

(委員) ある程度の規模の学校であれば、基礎的な内容を教える先生と発展的な内容を教える先生の2人がつくような体制が今後検討されると良いのではないかと思います。

(教育長) その他よろしいでしょうか。

(委員) はい。

(教育長) 続いて総合教育会議についてお願いします。

(事務局) (総合教育会議について説明)

(委員) (総合教育会議について意見交換)

(教育長) それでは、事項書の中で他に質問等ございませんでしょうか。

(委員) はい。

(教育長) そうしましたら、教育委員研修についての案をまたお送りさせていただくということと、総合教育会議の開催通知を発送させていただきます。引き続きどうぞよろしくお願いいたします。

(教育長) これをもちまして令和7年8月教育委員会会議を閉じさせていただきます。次回は、9月25日木曜日午後4時から当会場で開催させていただきます。よろしくお願いいたします。ありがとうございました。